

## (2) 工事の時間的コストの低減

### 水路函渠にコンクリート2次製品を活用し、工期を短縮

九州地方整備局 北九州国道工事事務所 飯塚・庄内・田川バイパス建設工事

#### 【施策の概要】

従来、JIS製品の短尺もので計画していたものを長尺化するなど、主に小型のコンクリート構造物においてプレキャスト化することにより、コスト縮減を図ってきました。更に、これまで現場打ちコンクリートで施工してきた大型の擁壁や函渠等についてもプレキャスト製品化し活用することにより、さらなる工期の短縮と品質の向上等を図ります。

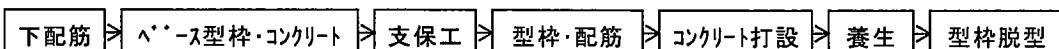
飯塚・庄内・田川バイパス建設工事においては、当初、約64mを現場打ちコンクリートボックスで計画していましたが、プレキャストボックスを利用することで大幅な工期の短縮と品質の向上を図り、ひいてはバイパス全体の早期開通に努めました。

#### 【施策のポイント】

- ・コンクリート構造物を工場で製作することにより、現場での施工期間の短縮が図られます。今回の函渠工事全体では、プレキャストボックスを使用することにより、施工期間が約3ヶ月間短縮され、今後施工する盛土工事及び舗装工事等が完了することにより、バイパスの早期開通が図られます。
- ・今回採用したプレキャストボックスは、工期の短縮を一番に考えました。工事箇所の地盤が悪いため、土の置換を行なう施工に時間がかかるので2次製品を使用することで、養生など現場施工が省略でき、コンクリート構造物の品質確保も図られます。
- ・コンクリート構造物を現場打ち施工からプレキャスト化することにより、これまで人力主体の施工形態からトラッククレーンなどの機械化施工となり、効率的な施工が可能となります。

#### 【施策の実施状況・イメージ図】

(従来：現場打ちコンクリートによる施工)



現場期間：68日間

(今回：コンクリート2次製品の活用)

約2ヶ月間短縮



現場期間：14日

現場条件：断面 4500 × 2000 施工延長 約64m

上記に加え

北陸地方整備局 新潟国道工事事務所 亀田道路その9工事

近畿地方整備局 兵庫国道工事事務所 春日和田山道路春日IC改良工事等 計43件において、大型コンクリート2次製品を活用し、工事の時間的コスト低減を図りました。